

藤井高尚文題索引

工藤 進思郎

凡例

一、本稿は、近世後期の国学者で文章家としても名高い藤井高尚の作にかかる文章約四百編について、その文題を現代かなづかいによる五十音順に配列したものである。文題のよみかたは概ね慣例に従ったが、まぎらわしいものは音読した。

一、各文題の下に、その文章を収める文集等の書名を示したが、とくに次に掲げる高尚の文集類に収録されているものについては、文集ごとの収録順序を示す文題番号を加えておいた。書名の下の()内は本稿において用いた略称である。

文章草稿(草稿) 二冊 静嘉堂文庫
 蔵自筆本(一部写) 四八編
 文稿 一冊 松屋文庫蔵写本 五編
 文稿二 一冊 松屋文庫蔵写本 四一

編

文章稿 一冊 松屋文庫蔵写本 一〇

編

雑題作文三十章(雑題) 一冊 松屋

文庫蔵写本 三〇編

衣魚のすみか(衣魚) 一冊 松屋文

庫蔵写本 七編

松屋文集(文集) 二冊 文化十一年

刊本(架蔵) 七〇編

松屋文後集(後集) 三冊 天保三年

刊本(架蔵) 一五〇編

松屋文後々集(後々集) 三冊 松屋

文庫蔵写本(現存二冊) 一〇八編

一、文集類に未収のまま単独で伝わっている文章については、その所蔵機関名等を掲げた。

一、同じ文題で二編以上の異なる文章が存

する場合は、文題の下に(一)(二)などの番号を記して区別した。

一、同一のものと認められる文章が収録文集により文題を異にする場合は、最終稿と見なし得る『松屋文集』『松屋文後集』『松屋文後々集』所収の文題によって掲げ、次に()を付して他本のそれを示した。

一、文題を欠く文章については、私に付した仮題を掲げた。()で括った文題がそれである。

一、付録として藤井高尚作『おくれし鴉』(文化八年刊本、架蔵)所収の消息文の題を、同書における収録順序のままに掲げた。

一、本稿の調査をすすめるにあたり、貴重な諸資料の閲覧に格別の便宜を与えられ

た関係機関ならびに個人の方々に対し
深甚の謝意を表する。

あ

明石人名村久敬六十の賀の詞 後々集 73
秋かぜといふ題にて 後集 102
秋田といふ題を(秋田)

秋の山水のかたに 文稿 219・文集 41
文集 57
秋の野のはなのさだめ 後集 101

朝鶯といふことを(朝鶯)

歌文於保衣・文集 22

あさひ川にてはらひしたる詞 文章稿 10
芦の屋のことは 後々集 53
雨ごひの記 文稿 230

雨夜庵詞 後集 31
海士を(一) 雑題 23・後々集 24
海士を(二) 雑題 24・後々集 26

天宇受売命乃御前申詞 後々集 98
雨のうちの柳といふ題にて 後集 54
あやごろも 後々集 95

あやめ 後集 80

嵐山のさくらははなの詞 後集 66
あらしやまの花のころのさまかける絵の
かみに 後々集 79

い

伊介といふ人の画像のかたへに 後々集 78
伊勢の浜狄 衣魚 1

伊勢物語竟宴歌ノ序 文稿 2
市商客 草稿 23・文稿 240
稻毛ながしのもとにおくりたる詞

(伊原富壽追悼文)

いはの屋のことは 後々集 43
個人蔵

う

うひぶみのしるべ 一枚刷
浮木の花の詞 後々集 69
鶯といふ題にて 後集 56

雨後花といふことを 後集 69
海といふ題にて(一) 雑題 18・後々集 18
海といふ題にて(二) 雑題 19・後々集 19

海といふ題にて(三) 雑題 20・後々集 20

梅薫風

梅園詞(一) 草稿 30
梅園のことは(二) 後集 36
雲霧舎の詞 後々集 66

雲霧舎の詞 後々集 35
雲洞門の詞 後々集 66

え

江戸にて夕納涼といふ題にて 後集 90
絵馬殿葺竟ける時に大前に申し詞 後集 141
猿頭硯の言葉 後々集 68

遠望舎の詞 文集 11

お

老木の花のはしがき 後集 5
大井河の石すゞりをえてよろこぶ詞

大坂早坂之衝にこたへたる文 文集 54
大田神社古蹟處碑詞 草稿 12
大名持ノ命の御像絵に書て添たる文 後集 146

大町泰純が江戸におもひきけるをりによ 後々集 102
みておくりける歌の序 文稿 1

大町泰純におくりたる文

草稿 32

大町泰純をとぶらひてかきける文

草稿 33

大森矩忠が母の賀にあつめたる歌の序

文集 2

大森滿體翁碑詞

後集 149

荻風といふ事を題にて(荻風)

文稿二 13・文集 37

奥の山里詞

後集 20

小倉保弼が四十の賀にかきておくりたる

歌文於保衣・後集 129

小鈴のこと葉

文集 65

小田見る庵のことば

後々集 48

同じ御城のこがね白がねのこととらるゝ

朝倉孝貞主の家にて九月九日といふこと

を
後集 104

同じところにて更衣を

同じ所にて菜花を
後集 69

おなじ所にてやしま見にゆきける詞

後集 96

おなじ人の母の六十の賀に楯といふこと

を
後々集 72

おなじ人のもとにおくりたる文
草稿 28

おのをあだかたきのやうに人のいひし

ときよてかける文
文稿二 39・衣魚 5

叔母のひときの前にてまをしゝ詞
文集 68

おもふころありてよめるながうた

祖々の靈神の祭に申す詞
後々集 103

鶏頭樹園詞

鶏頭樹園に鎮坐す大國主神の御前に申す
後集 21

詞

垣卯花といふ題にて
後集 73

柿園詞
後集 42

柿庭詞
後集 41

臥人書堂の詞
後々集 49

(鹿嶋重正の家の詞)
稻葉文庫蔵
後集 12

片山伯明の六十の賀の哥巻の序
後集 13

かな組題の序
後集 31

亀といふことを
雑題 30・後々集 31

加茂の川原にいであすみたることば
後集 91

賀茂祭といふことを題にて
後集 79

川霧

文稿二 18

川口昇駒にかきてえさせたる文
後集 120

閑居(一)

雑題 4・後々集 4

閑居(二)

雑題 5・後々集 5

閑居月といふ事を題にて(閑居月)

閑中五月雨といふ題を(一)

閑中五月雨といふ題を(二)

閑中五月雨といふ題を(三)

観瀆庵詞
後集 44

玩芳舎乃詞
後集 143

き

菊の花をめづることば
後集 105

岸菊といふ題を(岸菊)

鬼神新論序
後集 2

喜多元民の四十の賀に松といふ題にて
後々集 71

きなれ衣
草稿 20・文稿二 35

木下ノ君の今やうの御かた歌を吉田何が

しにたまひたることのよしゝるしたる文

文章稿 9

月前のほとゝぎすといふことを

月燈庵の詞

文集 26

琴といふことを(一)

後々集 34

雑題 26・後々集 27

木種の屋のこと葉

後集 46

源氏物語小鑑序

後集 7

琴といふことを(三)

雑題 27・後々集 28

吉備津官記拾遺序

後集 131

源氏物語玉の小櫛の序

文集 3

〔詞の花がたみ〕

稲葉文庫蔵

〔教訓古今道しるべ序〕教訓古今道しるべ

後集 71

性碧亭詞

文集 3

音楽の花がたみの序

後集 3

京にて春を惜むころを

後集 60

性碧亭詞

後集 30

琴弾山のことば

後々集 93

行餘書屋のことば

向耕亭の詞

文集 4

このてかしは

草稿 36

禁中月のころを(禁中月)

文稿 20・文集 42

向耕亭の詞

後々集 50

斎藤一興が家の消息文集の序

草稿 13

く

香細園の詞

後々集 37

栄の屋のことば

後々集 33

草虫といふ事を(草虫)

文稿 17・文集 40

校正万葉集序

後集 132

桜園詞

後集 50

草花園詞

後集 118

後凋園のことば

後々集 61

桜の屋のこと葉

後集 24

曲馬のことば

文集 62

香木舎の詞

後々集 62

酒のことば

後々集 81

宮内卿のかたのかみに

後々集 77

古寺月といふ題を(古寺月)

文稿 22・文集 44

早苗といふことを(早苗)

草稿 40・文集 27

国矛明神社伝

後集 150

小柴屋詞

後集 19

採早苗といふことを

後集 83

黒宮光峯にいひやりたる詞

衣魚 4

五松舎詞

後集 26

秋長屋詞

後集 17

後訂万葉集之序

後集 150

後訂万葉集考異

後集 8

讃岐の国白鳥の宮のみやつかさ猪熊氏に

後集 17

古調梯序

後集 150

古調梯序

後集 8

故鈴屋翁のせうそこ文おくるに誓て添た

後々集 91

け

こてふのことば

後集 8

る文

後々集 91

奎瑞石のことば(奎瑞石の記)

草稿 14・文集 52

こてふのことば

草稿 22・文集 41・文集 16

五月雨のころを(一)

後集 81

琴といふことを(一)

草稿 14・文集 52

こてふのことば

雑題 25・後々集 26

五月雨のころを(二)

後集 82

山家(一)	雑題1・後々集1	鳥見る庵のことば	後々集39	杉ノ屋詞	後集33
山家(二)	雑題2・後々集2	衣魚のすみかの序	衣魚	薄露といふ事を(薄露)	
山家(三)	雑題3・後々集3	しみのむろ屋のことば	文集14		
山家月といふ事を(山家月)		社頭月といふことを題にて(社頭月)	文集14		
	文稿23・文集45				
山館冬到といふ事を題にて(山館冬到)		社頭花といふ題にて	文稿21・文集43	すゞみのことば(一)	文集14・文集38
	草稿25・文集50	俊成の三位の君の像をうつしえたる小野	後集60	すゞみのことば(二)	文集17
三勝楼の詞	後々集36	湘雲をはむる詞	後集119	すゞみのことば(三)	文集18
山水のかたにかきてそへたる文	後々集80	豊明堂のことば	後々集52	すゞみのことば(四)	後集88
三友舎のことば	後々集32	正五九月尔我大神乃御靈依幣乃御前亦申	後々集97	驚見氏の家なるたか屋の詞	後集89
		詞		掬力のこと葉	個人蔵
					文稿236・文集60
し				せ	
椎園のことば	後々集42	正風躰抄をかうさくすることのよしをの	後々集97	正訓日本書紀序	後集133
止雨祭祝詞	後々集101	べたること葉	文集67	成広楼の詞	後々集38
塩尻盛忠をかなしめる詞(塩尻盛忠をい		初秋秋といふことを	後集93	青松社の記	文稿3
ためる詞)	草稿17・文稿二9	城山眺望の図にかきてそへたる文	草稿31	清少納言之碑詞	後集148
志賀山越といふ題にて	後集70	城山の記	草稿29	静々風詞	後集37
事足庵乃詞	後集142	新樹といふことを	後集74	借陰館詞	後集36
したわらび	文稿二31・文集59	尋梅といふ題を	文集21	雪舟禪師之碑詞	後集147
しのぶぐさ	文集64	神部職任考のおく書	後集14	占春居の詞	後々集41
芝居のこと葉	文集63	す		餞別頌夜といふ題にて(餞別頌夜)	後々集41
柴垣松の詞	後々集108	杉重郷の家詞	後集29		草稿24・後集115

そ

早秋朝といふ事を題にて(早秋朝)

文稿二10・文集34

會丹硯の詞

後々集67

そとの記

後々集94

た

怡雲といふ絵師にかきてえさせたりしこ

後々集76

とば

田家(一)

雑題6・後々集6

田家(二)

雑題7・後々集7

田家(三)

雑題8・後々集8

田家鹿といふことを題にて(田家鹿)

文稿二34・後集98

(高雄紀行)

本居宣長記念館蔵

鷹狩といふ題にて

後集111

田上直方にかはりてかきける文

衣魚6

高橋翁が花さすことをいへる詞

後々集70

竹庵詞

後集22

竹の屋の詞(一)

文集7

竹の屋のことば(一)

後々集59

橘といふ題を(橘)

草稿43・文稿二3・文集20

鶴の詞

文集19

多豆の屋詞

後集34

田中茂景が身まかりしをかなしむ詞

文集65

七夕夜深といふことを(七夕夜深)

文稿二11・文集35

谷のもみちといふことを(谷紅葉)

文稿二28・後集107

旅といふことを(一)

雑題13・後々集13

旅といふことを(二)

雑題14・後々集14

旅といふことを(三)

雑題15・後々集15

旅といふことを(四)

雑題16・後々集16

旅といふことを(五)

雑題17・後々集17

環ノ屋詞

後集28

ち

父のよみてかきおかれし花のかたをかけ

文集66

物といふものにしてそれにそへたる文

後々集66

茶籠の言葉

後々集66

茶の湯といふことを

雑題9・後々集9

つ

月といふことを

後集97

月の屋のことば

後々集40

つくしの日記のおくがき

後集15

萬屋詞

後集43

部通窓の屋の詞

後々集61

て

滴翠舎の詞

後々集65

と

攤衣のころを

文集47

稻花香處園の詞

後々集64

刀装図彙の序

後集11

梅の尾の茶の詞

後々集85

常磐井のこと葉

文集70

常磐の屋の詞

後々集55

土佐国職人歌合序

後集4

登々奔のあるじ武元賀がつくしにゆくを

りにおくりせし人の哥あつめたる巻のお

くがき

後集16

隣播衣

文稿二 26

夏夜といふ事を(夏夜)

日本紀竟夏歌集序

後集 10

鳥羽季退にかはりてよみける歌のはしがき
文稿 5

草稿 47・文稿二 7・文集 33
瞿麦といふことを題にて(瞿麦)

ぬ
御舎のことば

後集 18

鳥越何がしがもたる山水友といふものにかきてそへたる文
草稿 38

草稿 41・文稿二 1・文集 28
四十九日になき父君のみたまのしるしまへにそなへたる歌のはしがき
文稿 5

ね
猫をうつくしむ詞

衣魚 2

な

九月九日こもりてかける文
文稿二 37

浪華尚歯会記
難波の御城の御弓の事とらるゝ西田忠禮

の
ねりものゝこと葉

草稿 21・文集 61

九月中申日に御門の神に申詞
後集 136

なにはの御城のすりの事とらるゝ飯嶋之
後集 103

納涼(一)

文章稿 1

九月の中申日に我皇大神の大前に申詞
後集 137

なみのうへに千鳥のむれてたつかに
後集 99

納涼(二)

文章稿 2

中山秀金におくりたる文
草稿 1

後集 109
後集 1

納涼(三)

文章稿 3

中山秀金にこたへたる文
草稿 11

後集 9
後集 1

納涼(四)

文章稿 4

(中山尚歯会乃記序)
中山尚歯会乃記
ながらの橋柱の木のはしにかきてそへたる文(ながらの橋柱の木のはしをもたる人にかきておくりたる文)
草稿 26・文集 51

南路志序
後集 9
後集 1

納涼(五)

文章稿 5

長廊前に木に彫て置る詞
後集 146

西田氏の家の詞
後々集 44

納涼(六)

文章稿 6

夏草といふことを題にて(夏草)
草稿 44・文稿二 4・文集 30

西原ノ清蔭がもたる古鏡にそへたる詞
後集 126

納涼のこゝろを(納涼)
草稿 46・文稿二 6・文集 32

文章稿 7

夏月といふことを
後集 87

西山雅雄がもたる硯にかきてそへたる文
文集 63

せる文

後々集 92

野萩といふ題を(野萩)

文稿二二・文集 36

宜易の七十の賀の詞

後々集 74

は

白樺屋詞

後集 32

はじめて黒官光峯にあひたる時かきてい

だせしこと葉

草稿 7

初聞雁

文稿二 16

蓮の詞

後集 85

八月十二日の夜さぬぎの国高松のさとに

て月見にゆきたる詞

後集 95

八月十六夜岡山人かれこれとひ来りけれ

ば打つて有木山にのぼり古寺にまとも

して月を見てよめるながうた

文稿二 32

はなかたみのはしがき

文集 1

花盛に吉野をおもふ詞

草稿 6

花といふ題にて

後集 58

花の頃人のもとへおくる文

草稿 5

花ノ屋詞

後集 25

花見のことは(一)

草稿 2・後集 64

花見のことは(二)

草稿 3・後集 66

花見の詞(三)

草稿 4

舞乃詞

後々集 106

はらへしたる所

後集 92

春雨のころを

後集 67

ひ

弾ものゝさだめの序

文集 4

(備中国巡覽大絵図序)

備中国巡覽大絵図

ひとつの鹿たゞずみたるに時雨ふる

文集 58

ふ

笛を(一)

雑題 28・後々集 29

笛を(二)

雑題 29・後々集 30

富士石のことは

後集 126

藤田百餘の書斎の詞

後々集 64

藤の屋のことは

後々集 58

ふた子のやまのひとつ松のことは

後々集 89

琴塚碑詞

後々集 107

舟にのりて梅の花見たるといふ題にて

後集 52

書いたる箱のふたにかきつるうたのこ

といへる詞

後々集 88

古河氏の家の歴松の詞

後々集 57

ふるき鏡にかきそへたる詞

後々集 87

ほ

法橋何がかけるすまのうらのかたに

後集 121

万正植田といふ名字かくことゆるされし

ことをいへることは

後々集 76

矛の屋の詞

後々集 63

細谷川といふ笛のこと葉

文集 69

蛭といふことを(蛭)

草稿 42・文稿二 2・後集 84

子規をたづぬることは(一) 草稿 9・後集 76

子規をたづぬることは(二) 草稿 10・後集 77

ほととぎすをまつことは 後集 75

堀江ノ松のこと葉 後集 117

拙家廣政が祖母の廿五廻忌にあつめたる

哥の跋

草稿 34

ま

披の園の詞

草稿 16

六月歌
美作国弓削庄なる正酌の詞

文稿 27

武藤平道がまなび屋の庭の賢木の詞

後集 53

真清水といふ酒のことば

後々集 83

みやこにて秋野のころを

後集 100

紫式部日記釈の序

紫式部日記釈
後集 40

松蔭亭之詞

後集 144

みやこにて尋虫声といふ心を

後集 94

松蔭屋詞

後集 48

都にて東山花といふ題にて(一)

後集 61

明月間雁

文稿 23

松島のながしが人がをきりころせし物語

草稿 16・衣魚 3

都にて東山花といふ題にて(二)

後集 62

目黒氏の家の酒の詞

後々集 84

松といふ題にて

後集 116

都にて呼子鳥といふことを

後集 68

めのおとうとをいためる詞

文稿 23

松園のことば

後々集 45

御社のあたりなる長き廊高き石垣造り寛

後集 139

もしほの屋の詞

後集 23

松の屋の庭中の御諸の大國主大神をうつ

後々集 99

ける時に大前に申し詞

後集 139

本のしづく

後集 128

し奉りて御前に申し詞

後々集 99

むこの増田三太夫といふ人のいもうとの

後々集 105

紅葉園のことば

文集 9

真那備乃広道之序

後集 134

むの増田三太夫といふ人のいもうとの

後々集 105

紅葉といふ題にて

後集 106

み

三寸鏡靈神の初度の祭に大穴持命の御前に申し詞

後々集 104

虫明の記

衣魚 7

もみちと菊とまさりおとりのさだめ

後集 106

に申し詞

後々集 104

無所得庵の詞

文集 13

桃の屋の詞(一)

後集 108

御馬屋造り竟ける時に大前に申し詞

後集 140

無心亭の詞

後々集 47

桃の屋のことば(二)

後々集 46

水とりのころを

後集 110

正月元旦に皇大神の大前に申し詞

後々集 96

や

後集 46

みどりの屋詞

後集 39

む月にうるふ月ありけるとしかめにさし

後集 135

八千くさの屋の詞

後集 49

緑園詞

後集 38

む月にうるふ月ありけるとしかめにさし

後集 135

八千くさの屋の詞

後集 49

みどりの屋詞

後集 39

む月にうるふ月ありけるとしかめにさし

後集 135

八千くさの屋の詞

後集 49

寄生園詞

後集 27

柳ある家といふ事を

後集 55

柳園の詞

文集 12

山口のしをりの序

後集 6

山田安愛の家桜のことは

後集 67

山田原庵詞

後集 45

山ついでもの詞

草稿 37

山つと

草稿 39

山春月といふことを(山春月)

草稿 35・文集 23

山吹屋詞

後集 47

ゆ

極の屋のことは

文集 6

ゆふがほ

後集 86

夕鹿といふ題を(夕鹿)

文集二 15・文集 39

遊女といふ事を(一)

雑題 21・後々集 21

遊女といふ事を(二)

雑題 22・後々集 22

遊女といふ事を(三)

後々集 23

夕立といふ題を(夕立)

草稿 45・文集二 5・文集 31

雪見のこと葉(一)
雪見のこと葉(二)

後集 113
後集 114

よ

養素園のことは

文集 15

よゝの色といふ香盒の詞

後々集 90

夜雨(一)

雑題 10・後々集 10

夜雨(二)

雑題 11・後々集 11

夜雨(三)

雑題 12・後々集 12

ら

楽郊園の詞

文集 8

楽郊園のほとゝぎすの詞

後集 78

り

立春のころろを

文集 20

龍骨の詞

文集 56

龍石の詞

後集 127

臨時祭祝詞

後々集 100

ろ

六哥仙といふかたかける絵のかみに

折辺閑談といふ事を

後集 112
後集 122

わ

わが大神の御まへにありしふるきとうろ

のうせつるをなにはにてえたる事のよし

かける文(一)

後集 123

わが大神の御まへにありしふるきとうろ

のうせつるをなにはにてえたる事のよし

かける文(二)

後集 124

わかなの詞

後集 51

渡辺ノ重豊の四十賀にかける文

後集 130

渡辺氏の雨夜の庵の詞かきておくりてか

ひなかりし事

個人蔵

付録『おくれし厲』

年のはじめに人の許におくるふみ

返事

花見にゆかんとて人をさそひにやるふみ

返事

五月雨の比人の許におくるふみ

返事

八月十五夜の月のまともをかねて人につ

げやるふみ

返事

菊の花にそへて人のもとにおくるふみ

返事

雪のあしたに友だちのもとにおくるふみ

返事

人にとはれたるよろこびいひやるふみ

返事

人の賀にものおくるにそふるふみ

返事



研究室受贈図書雑誌目録(五)

国文学研究資料館紀要 第十三号

国文学研究ノート(神戸大学) 第二十号

国文学攷(広島大学) 第一百十三号

国文学雑誌(藤女子大学・藤女子短期大学) 第三十八号、

第三十九号

国文学論究(花園大学) 第十五号

国文学論考(都留文科大學) 第二十三号

国文学論集(九州龍谷短期大學) 第七号

国文学論叢(龍谷大學) 第三十二輯

国文研究(愛媛国語国文学会) 第三十六号

国文研究(香川大學) 第十一号

国文白百合(白百合女子大學) 第十八号

国文自白(日本女子大學) 第二十六号

国文論叢(神戸大學) 第十四号

古代研究(早稲田古代研究会) 第十九号

古代研究(ノートルダム清心女子大學) 第十四号

古典論叢(古典論叢会) 第十七号、第十八号

語文(大阪大學) 第四十八輯、第四十九輯

語文(日本大學) 第六十六輯、第六十七輯、第六十八輯、

第六十九輯

語文研究(九州大學) 第六十二号、第六十三号

語文と教育(鳴門教育大學) 創刊号

駒沢国文(駒沢大學) 第二十四号

佐賀大國文 第十四号

相模国文(相模女子大學) 第十四号

滋賀大國文 第二十五号

実践国文学(実践女子大學) 第三十一号、第三十二号

就実語文(就実女子大學) 第八号